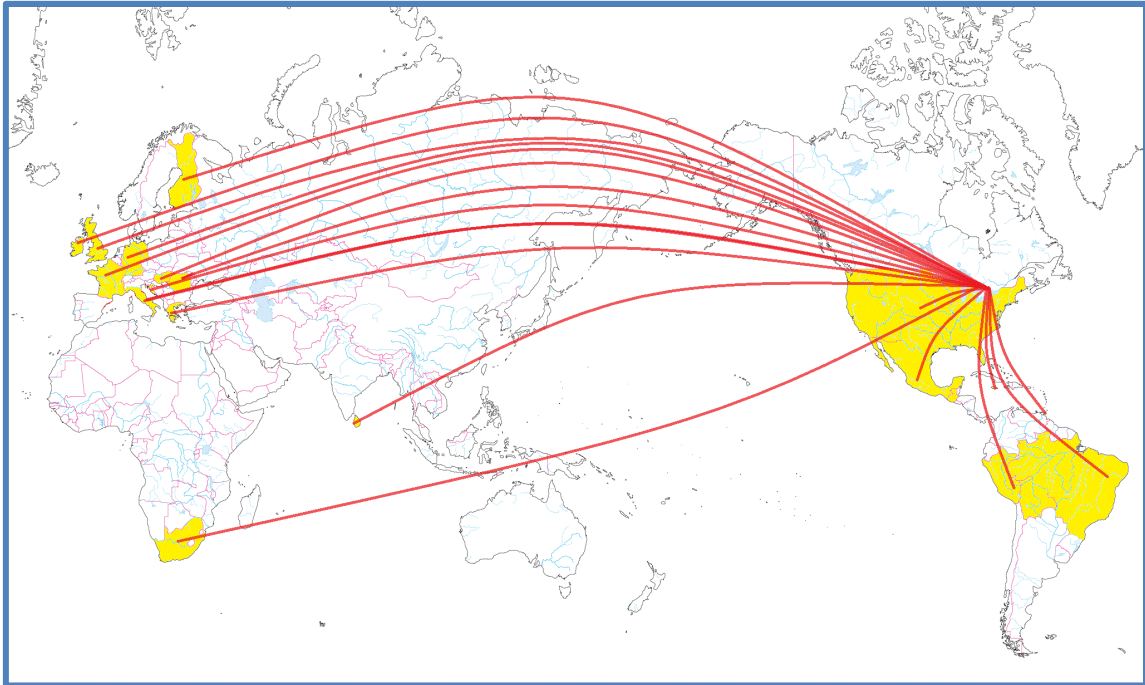


カナダ・ホームステイプログラム



生徒達が訪問したホストファミリーのルーツ

◆インタビュー課題

- ① 家族のルーツはどこのか・何世代目か
- ② その他、感想など

1年女子



- ① 父方の母はカナダ、父はハンガリー3世代目。
- ② 日本では何代目かを聞かれても遡ることが出来ない人が多くいますが、3世代目という事は祖母の国籍が自分と違うと考えると不思議に感じました。二つの家庭に滞在しましたが、生活面でも大きく違いがありました。特に食事に関しては、一つの家ではごはんが主食、もう一つの家ではパンやパスタが主食であったり、香辛料を使用したりと様々な所で違いがみられました。街中を歩いているだけでも移民の国である事がわかりました。教会に行った際には「オーストラリア」「アメリカ」「韓国」などから来た方にも出会い、私が「日本から」と言うと、受け入れてくれ、すぐに打ち解けることが出来ました。カナダが多様性のある国であることが様々な観点から捉えられた気がします。

1年女子



- ① 母方の母はアイルランド、父はイギリス。2世代目。
- ② ホストマザーはイングランドも美しく好きだが、カナダが大好きだと話してくれました。お話の中で彼女が何度も言っていたのは、カナダは新しい国だということです。そして、移住してきた人の多くは戦争をしていた国から来た人でもう二度と戦争をしたくないという思いを持っています。だからカナダは平和な国なのだそうです。色々な事情でカナダに移住してきた人がいて、皆、民族背景や習慣は違うけれど、それぞれお互いに尊重し合って平和な国を築いているのだなと思いました。

2年女子



- ① 父方の祖父母はイギリス3世代目。母方の祖母はアイルランド、祖父はスコットランド3世代目。
- ② ホストファミリーが自分のルーツや家族の歴史をこんなにも深く知っているのにはとても驚きました。自分のルーツをよく知っているからこそ、異なる国から来た人の国民性を知る余裕があるのだと思いました。ホストマザーの、「私はもっとカナダ以外の文化を学びたいと思っている」という言葉を聞き、カナダに住んでいるひとりひとりが民族・人種の多様性を認めていることを改めて実感しました。この心の広さ、寛容性が異民族同士の共生を可能にしていると思います。このインタビューを通して、私も自分のルーツをもっと知りたいと思いました。

1年女子



- ① 母方はスリランカ1世代目
- ② ホストファミリーはスリランカから移住してきた人たちで、カナダ特有の多様な文化を持つという点でたくさんのことを学ぶことが出来ました。家族はヒンドゥー教で、家の中にもお祈りをする場所がありました。キリスト教、仏教とまた違ったものを学ぶことができ、様々な文化を知ることで自分の世界を見る視野も広がりました。

2年男子



- ① 母方の母はドイツ、父はフランス3世代目。父方の両親はドイツ3世代目。
- ② ホストファミリーの話聞いて、改めてカナダは移民の国であることを実感しました。カナダには、多くの人種の方が住んでいるので、外国人観光客がいても、何も違和感なく過ごすことが出来ますが、その反面、日本は外国人観光客などに好奇の目を向けがちだと思いました。そういった意味では、日本人は自分と違うものを受け入れることを積極的に行うべきであると感じました。2020年には東京オリンピックが開催され、多くの外国人が来日するので、その時に、柔軟に対応できるように自分なりに準備が必要だと感じました。

3年男子



- ① 父方はアイルランド 5 世代目。母方はブラジル。
- ② 家族の一人一人がそれぞれのルーツに誇りを持っている、という事がとても伝わってきました。また、伝統や先祖を尊重、尊敬している事もわかりました。人口の大部分を一つの民族が占める日本のような国とは違い、移民の多いカナダのような国では、それぞれのアイデンティティをより強く意識させられるのかもしれない。

1年女子



- ① 母方の父はフランス 5 世代目。
- ② 私は東京で 3 世代目なので、5 世代も続いているのは長く感じました。近所に住んでいる人や、皆のホストファミリーとの出会いは多いものではなかったけれど、それでも肌の色も体格も、話し方も違っていて沢山の人種がいる事を実感しました。

1年女子



- ① アイルランドとイングランド。
- ② 私のホストファミリーはアイルランドとイングランドがルーツで、そこから移住してきている人は多いと言っていました。アジアからも最近が多いと話してくれました。その中でもお金持ちの中国人などが多いそうです。また、母国で事情があり、住めなくなってここに来る人もいます。確かに、カナダの街に行くと様々な人種の人があり、日本との違いを感じました。

1年女子



- ① ペルー 1 世代目。
- ② ホストファミリーはペルー出身で、ペルーからカナダに来る人は少ないと話してくれました。ペルーは南アメリカ大陸の中心に位置し、スペインの植民地であった為、スペイン語を話します。私と話すとき以外はスペイン語を使っていた為、会話を理解する事が難しく感じました。

2年女子



- ① トリニダードトバコ 1 世代目。
- ② カリブ海にある、トリニダード島から私のホストマザーは 37 歳の時、息子と移住してきたそうです。カナダは日本と違い、移住者を沢山受け入れていて、とても暮らしやすい国だと思いました。移住者同士のコミュニケーションで、他の国の文化も知ることが出来、グローバルな国だと感じました。



2年女子

- ① 南アフリカ 3 世代目。
- ② ホストファミリーは差別に苦しんだ事や、カナダは様々な人がいるから暮らしやすいといった事を教えてくれました。自分だったら答えられないような質問でも、間髪入れずに答えてくれ、母国への愛を感じました。



2年女子

- ① ジャマイカ 3 世代目。
- ② 私のホストファミリーはカナダでの生活はとても良く、この場所が大好きだと語ってくれました。今でも頻繁にパーティを開いて家族で集まったり、ジャマイカの民族音楽や料理を作ったりと祖国の文化も大切にしている事も感じられました。



1年女子

- ① スコットランド、フランス、アイルランド 6 世代目。
- ② カナダは全ての商品に英語とフランス語の説明がある為、フランスから来た人は多くいるのではないかと思います。私は自分の家族のルーツについてほとんど知らない為、自分の家族のルーツについて詳しく知っているのはすごいと思ったのと同時に、これも文化の違いなのかなと思いました。



2年女子

- ① ジャマイカ 2 世代目。
- ② ホストマザーのお母さんがカナダに住み、それを聞いてホストマザーもカナダに移住したそうです。ジャマイカの言葉を話したりはしないそうですが、今でもクリスマスとイースターのお祝いは大切にしているそうです。



1年男子

- ① 父方はジャマイカ 1 世代目。母方はカナダ。
- ② ホストファザーは仕事や教育環境など、より良い生活を求めてカナダへ移住したそうです。カナダにはジャマイカからの移住者は多く、今でもジャマイカ料理を食べたりしているそうです。



- ① 父方の両親がギリシャ 2 世代目。母方はブラジル 1 世代目。
- ② 二人ともカナダへの移住は比較的最近で、純カナダ人ではない、という事を知って驚きました。また二人とも英語のネイティブスピーカーではなく、はじめは英語が出来ずに苦労した、という事も印象的でした。



- ① 父方はスコットランド。母方はクロアチア。
- ② カナダではそれぞれの経緯を持った移民達がお互いを理解しあい、尊重し合って生活していると感じました。違う人種、民族がそれぞれの経緯で移住しているカナダは、とても多様性のある国であると感じました。



- ① 父方はフランス。母方はブラジル。
- ② 私のホストファミリーは違う人種同士で結婚して、子供たちも含めて日本から来た私たちの事をすぐ受け入れてくれました。また、ベリーやトロントでは本当にたくさんの人種を見かけ、カナダは異国籍の人を受け入れる、オープンな国であると思いました。



- ① 父方はイタリア 1 世代目。母方はフランス 5 世代目。
- ② ホストファザーの会社のパーティに参加したとき、中国・香港の方がいて、最初偏見を持ってしまいました。優しく日本語と英語を交じえて話しかけてくれ、このホームステイでは自分の思っていた事が真逆の事もあるという事がわかりました。



- ① グレナダ、トリニダードトバコ 1 世代目。
- ② ホストファミリーはカナダに来てからも、出身国の民族楽器を家に置いたり、料理を食べたりしているそうです。自分が知らないような場所から来た人とホームステイという形で出会え、貴重な体験となりました。

1年女子



- ① 父方はトリニダードトバコ 1 世代目。母方はスペイン 1 世代目。
- ② 二人とも勉強をする為に、それぞれの国からカナダへ移住したそうです。ホストファミリーはクリスチャンで、クリスマスやイースター等のお祝いをするそうです。リビングにイエス様の肖像画が飾ってあったりと、普段とは違った事を体験する事ができました。

1年女子



- ① ルーマニア 1 世代目。
- ② ホストファザーはルーマニア人でイングランドに住んだ後、カナダに移住したそうです。日本人の多くは、日本で生まれ日本で育っていくけれど、カナダは様々な国の人がいて、交流し、共に暮らしているのだと思いました。

1年女子



- ① メキシコ、グアテマラ 1 世代目。
- ② メキシコから 15 年前に移住してきたホストマザーは現在でも出身国の伝統行事を行っているそうです。メキシコ独自の行事である「day of the dead」「クリスマス」「ケーキをかじる風習」と 3 つのイベントを教えてくれ、日本と同じことや、違う事を比べながら学ぶとことが出来ました。

2年男子



- ① 父方はフィンランド 4 世代目。母方はイギリス 1 世代目。
- ② ホストファザーは 4 世代目ですが、その中でもアメリカ・イギリス・オーストラリア等に移住した親戚もいたそうです。1 家族でこんなに他国との関わりがあることに驚き、様々な民族でできた国なのだと改めて感じました。

2年女子



- ① 母方はスコットランド。
- ② 教会などに行くと、肌の色や顔つきで明らかにさまざまな国の人が移住してきていることがわかり、1 年の SEED で習った“diversity”をとっても感じました。日本ではあまり移住してきた人はいない為、歴史の違いを感じました。

2年女子  

- ① 父方はイギリス2世代目。母方はアメリカ3世代目。
- ② 私のホストファミリーは自分達の事を「Very Canadian」と言っていて、インターナショナルだと感じませんでした。ホストファミリーの隣に住んでいた方はイタリアのバックグラウンドがあり、彼らのイタリアなまりの英語を聞いて、カナダはインターナショナルな国だと感じました。

1年女子  

- ① 父方はイギリス5世代目。母方はスコットランド10世代目。
- ② 二人ともそれぞれの出身国の伝統的な慣例を行っていて、ホストファザーは農業をしていて、ホストマザーはキルティングをしている事を教えてくれました。

1年男子 

- ① スコットランド3世代目。
- ② ホストファミリーはより良い暮らしの為に、カナダに移住したそうです。カナダではほとんどの家庭がスコットランドからの移住する人が多かったそうで、料理もスコットランド由来のものが多くという事を教えてくれました。

SEED10(青山学院オリジナル英語テキスト)より抜粋 【A trip to Canada】

…I was happy I chose to study near Toronto. …It’s such a mixture of everything!

For example, trying to explain Torontonians, the people who live in the city, is quite difficult. The population of Toronto is over 2.7 million, and over half of the city’s residents are originally from somewhere else. Toronto is actually more ethnically diverse than the American cities of Los Angeles or New York, and more than 100 languages are spoken in the city. Of course, this diversity means that there are also many different religions, foods, and cultural practices. …

…Feeling like a part of a family in a different country is an unforgettable part of the trip for me.

It is a completely different experience from staying in hotels. I became very close to the Munro family, and even now we keep in contact and regularly send each other Christmas cards and birthday cards, and share pictures on Facebook. I also loved talking with different people I met in Canada.

One weekend, the Munro family had a barbecue and invited their neighbors, whose families were originally from Germany, Greece, Italy, India, Jamaica and China. They each brought ethnic food to the barbecue. It was an amazing opportunity for me to learn about and experience different foods, languages, and ways of life. Luckily I had brought some noodles from Japan, so I could contribute, too!

本レッスンは、青山学院高等部が実施するカナダ・ホームステイプログラムに出かけた生徒が、人種の多様性に出会うというストーリーからの抜粋です。

※下線部訳

トロントは実際、ロサンゼルスやニューヨークよりも人種が多様化していて、100言語以上が都市で話されています。もちろん、この多様性は多様な宗教・食べ物・文化的な慣習がある事を意味しています。週末に、Munro 家はバーベキューを開いて、近所に住む、ドイツ・ギリシャ・イタリア・インド・ジャマイカ・中国出身の方を招きました。彼らはバーベキューにそれぞれの国の料理を持ってきました。それは私にとって、違った食べ物・言語・生活様式を学ぶのに、とても素晴らしい機会となりました。







